

この度は、室内建具をご採用頂きまして誠にありがとうございます。

開梱時において、万一梱包や製品に傷などがある場合は施工前に購入先までご連絡をお願い致します。施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますのでご了承願います。


また、本説明書に基づき正しく施工頂きますようお願い致します。

目次


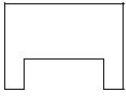





■各梱包内容.....	2~3
■施工手順.....	4~7
・開口部の確認、枠の固定.....	4
・レール、ピボットの取付.....	5
・扉の取付、ストッパーの施工方法と調整方法.....	6
・扉の調整と固定、取手の取付.....	7
■納まり図集.....	8~9
■使用上のご注意.....	10

■各梱包内容









●折戸本体 梱包内容

折戸本体

1 枚

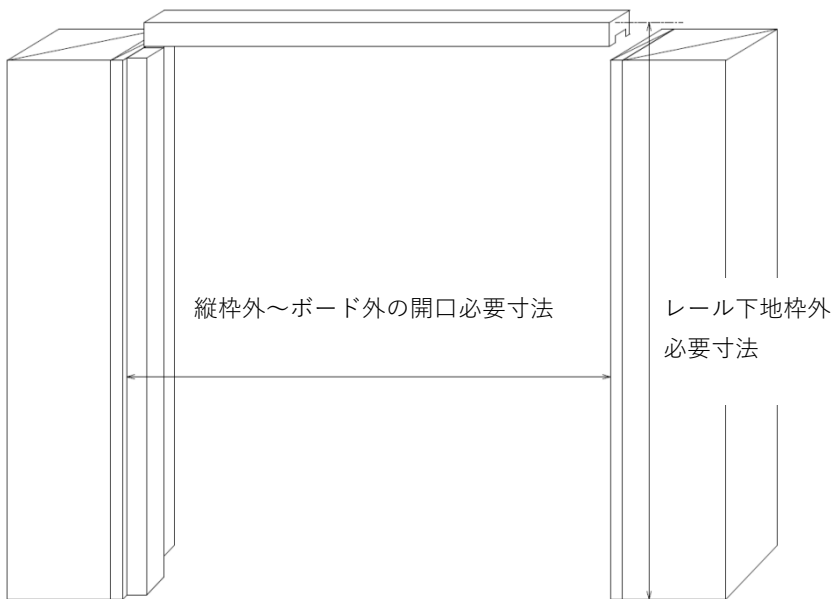
●折戸枠 梱包内容（セット品番：XF～）

縦枠		上枠下地材		上枠下地材用 パッキン	レール木口材
					
2 本		1 本		1 本	2 枚
上レール		下レール		部品箱	
					
0.5～1.5 間	2.0 間	0.5～1.5 間	2.0 間	1 箱	
1 本	2 本	1 本	2 本		

●部品箱 梱包内容 (品番 : TR-F-1、-2、-3、-4)

上ローラー	上ストッパー				下ストッパー				下部ランナー 打ち込みスペーサー
									
2~8 個	1~2 個				1~2 個				1 個
下部ランナー	上レール取付ビス				下レール取付ビス				縦枠取付ビス
									
2~8 個	-1 3 本	-2 6 本	-3 8 本	-4 12 本	-1 3 本	-2 6 本	-3 8 本	-4 12 本	10 本

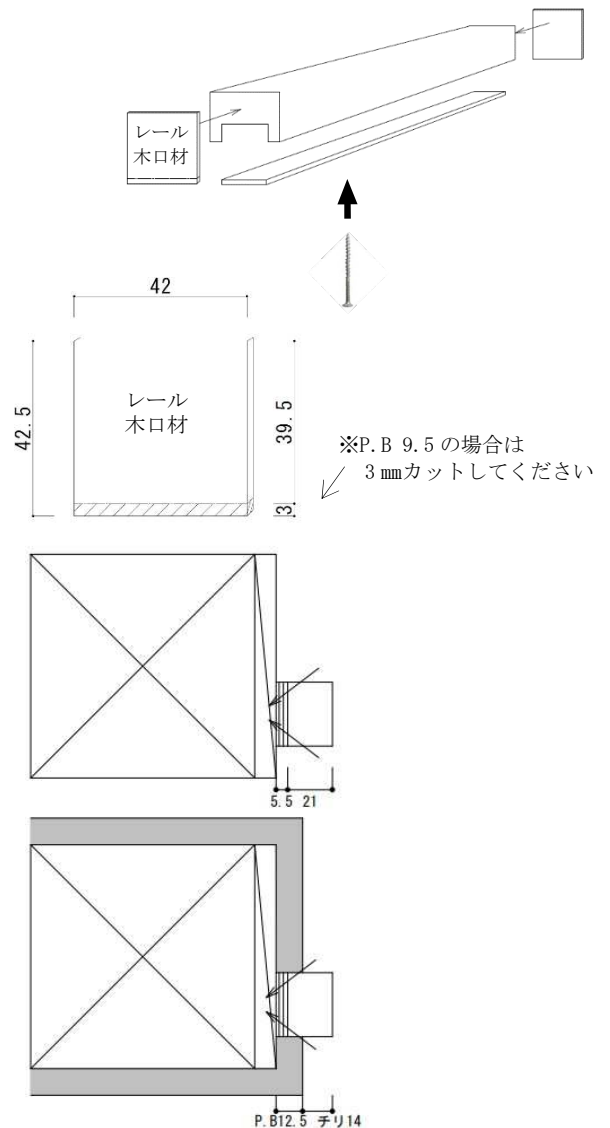
1. 開口部の確認



- 開口部の垂直・水平を正しく出して下さい。
- 開口寸法と製品寸法を照合確認して下さい。
- 納まり図を参考に開口部の寸法を確保して下さい。(左図参照)

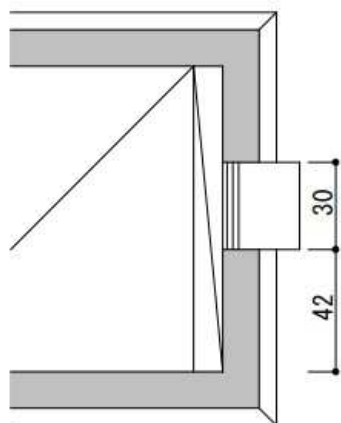
2. 枠の固定

- 1、調整した開口部に折戸枠を仮固定してください。
- 2、水準器、下げ振りを使用して折戸枠の水平・垂直・ねじれ・膨れを確認、調整してください。
- 3、上レールによる穴が見えない様にするため、上レール下地材に木口部材を貼り付けてください。(接着剤及びタッカーなどで固定)
- 4、上レール下地材を同梱のビスを用いて躯体にしっかり固定してください。
- 5、下地木材に対して、縦枠をフィニッシュ及び接着剤で固定してください。
その場合すき間を少なくする為、縦枠には5.5mm程度のパッキン（現地調達）を入れてください
- 6、フィニッシュなどの頭が隠れるようにPB（12.5 mm）を施工して下さい。

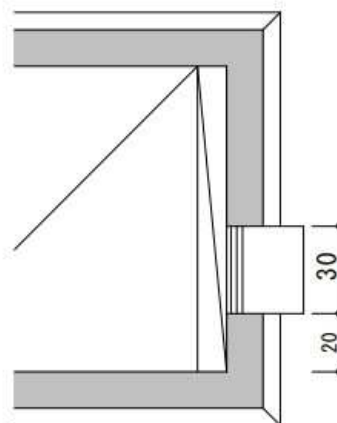


■ 枠の取り付け位置について

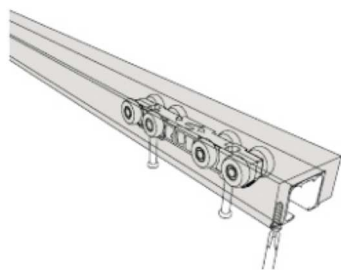
● 7 尺



● 8 尺

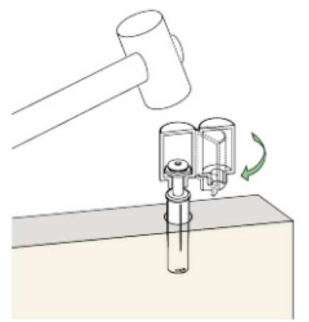


5. 上レール取付



- ・あらかじめ上ランナーをレール内に差し込み、上レールを取り付けます。
※上ランナーには左右方向があります。
上図のように左右の上ランナーが
勘合するのを確認して差し込んでください。

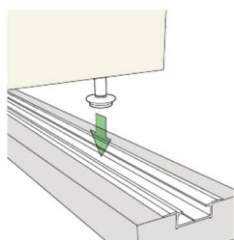
6. ピボットの取付



- ・打ち込みスペーサーを下部ランナーに挟み、ハンマーなどでピボットを扉の下穴に打ち込みます。

7. 下レール、ピボットの取付

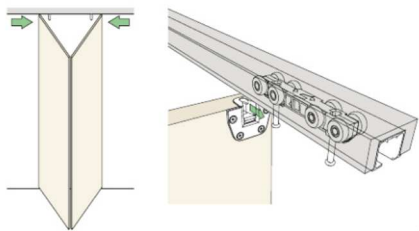
- ・下レールのカット



下レールは巾木の厚さに合わせて長さをカットして下さい。

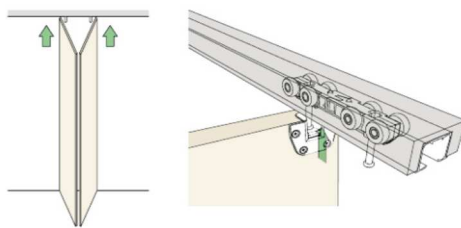
- ・納まり図を参考に下レールを付属のビスで取り付け、下部ランナーを落とし込んでください。
※上図レールは埋め込み式ですが、本製品は直付となります。

8. 扉の取付①



- ベースカップの溝に上ランナーの軸を合わせて扉をはさみ込んでください。

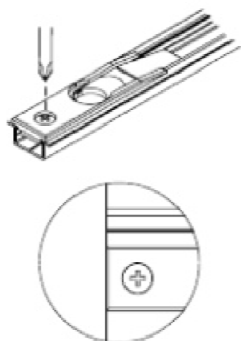
9. 扉の取付②



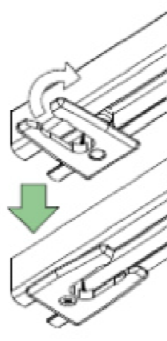
- 扉を持ち上げ、上吊り状態にしてください。

10. ストッパーの施工方法と調整方法

1. ストッパーを仮固定する

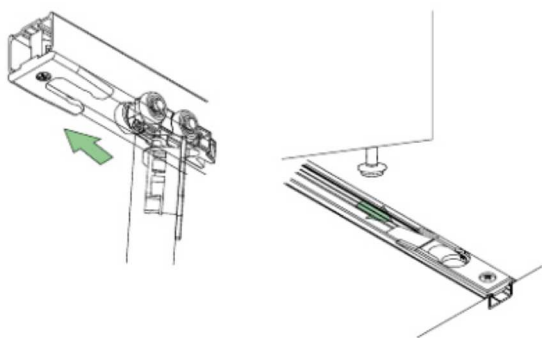


- 下固定ストッパーST
下レールの溝にはめ込みドライバーで仮固定します。

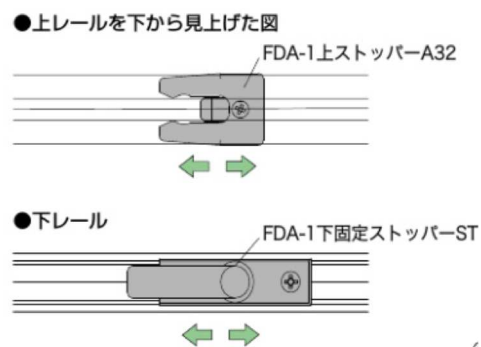


- 上ストッパーA32
上図の方向で上レールにストッパーを差し込んだら、90度反転させ固定したい位置に移動させドライバーで仮固定します。

2. 上下金具をそれぞれ上下ストッパーに入れる

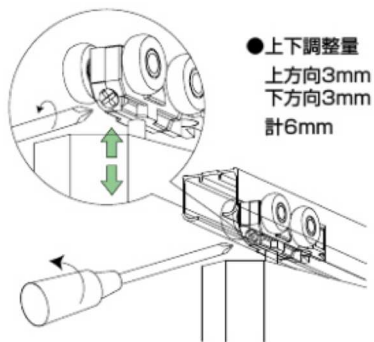


3. 上下ストッパーの位置を左右に動かして調整する。調整後に本固定する

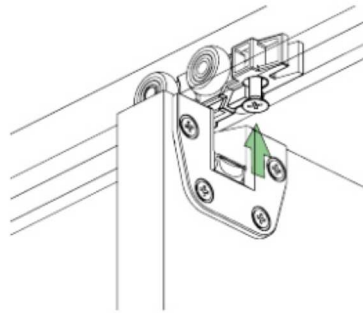


11. 扉の調整と固定

1、扉の上下調整を行う



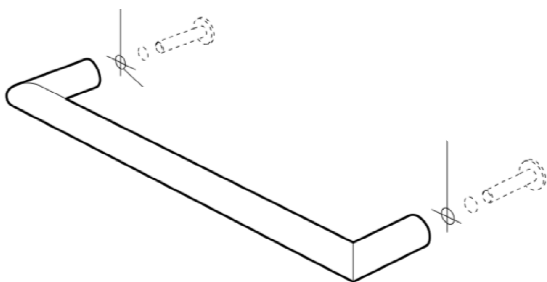
2、固定ネジを締め、扉を固定する



3、扉の開閉を行い、扉がしっかりと固定されているか確認する



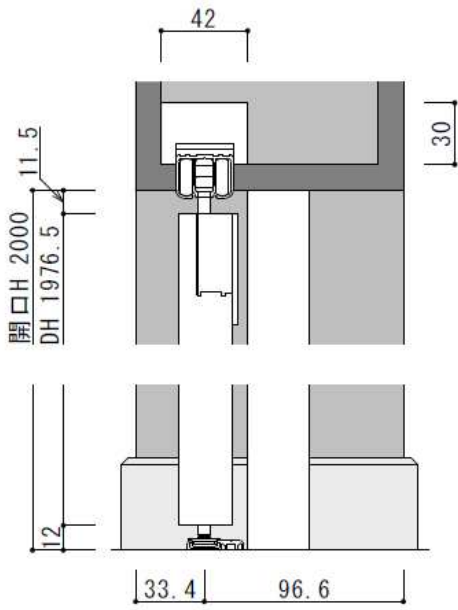
12. 取手の取付



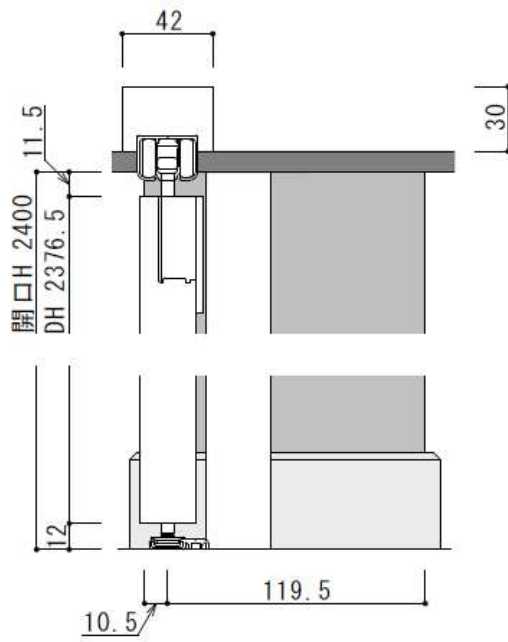
- ・付属のビスを使用し、取手を固定してください。
※建具に取付穴は空いています。

【縦断面】

●7尺

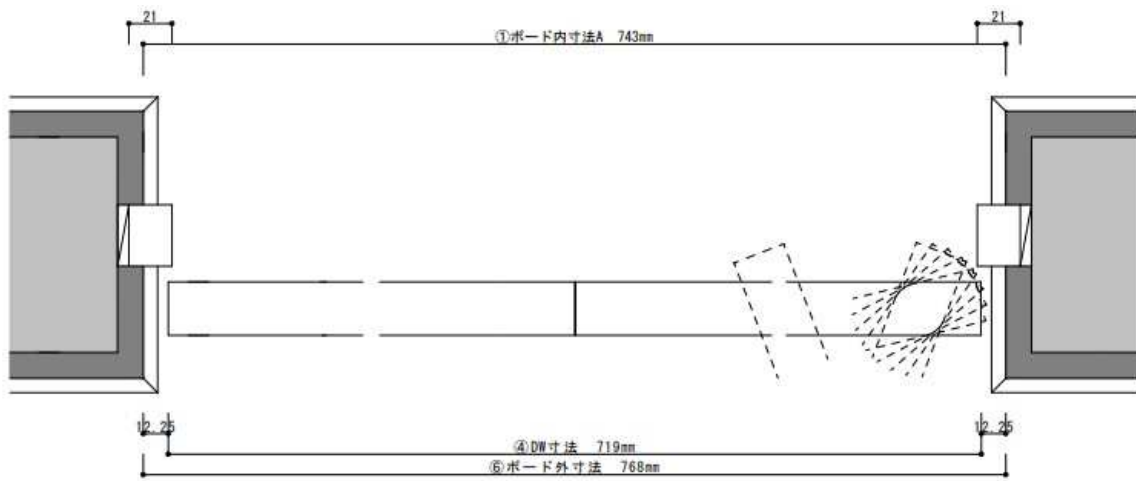


●8尺

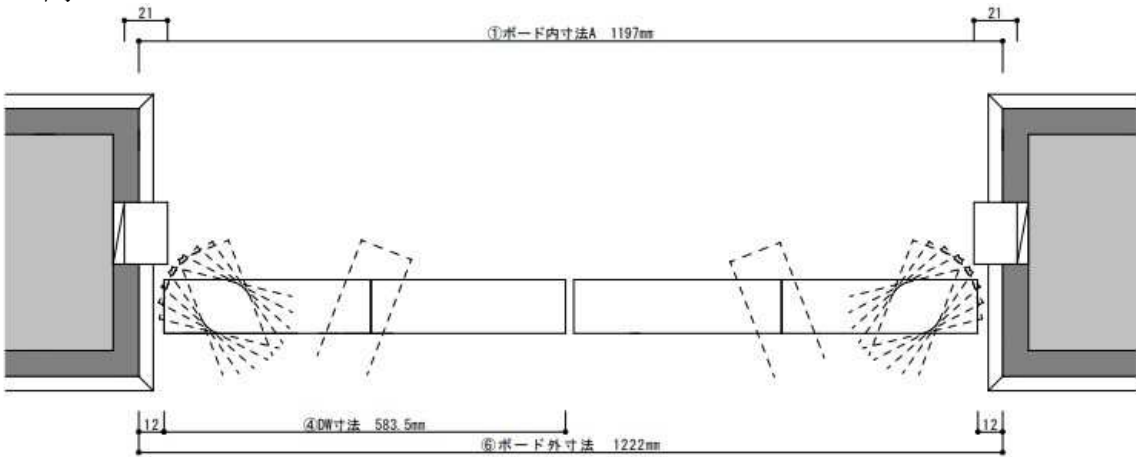


【横断面】

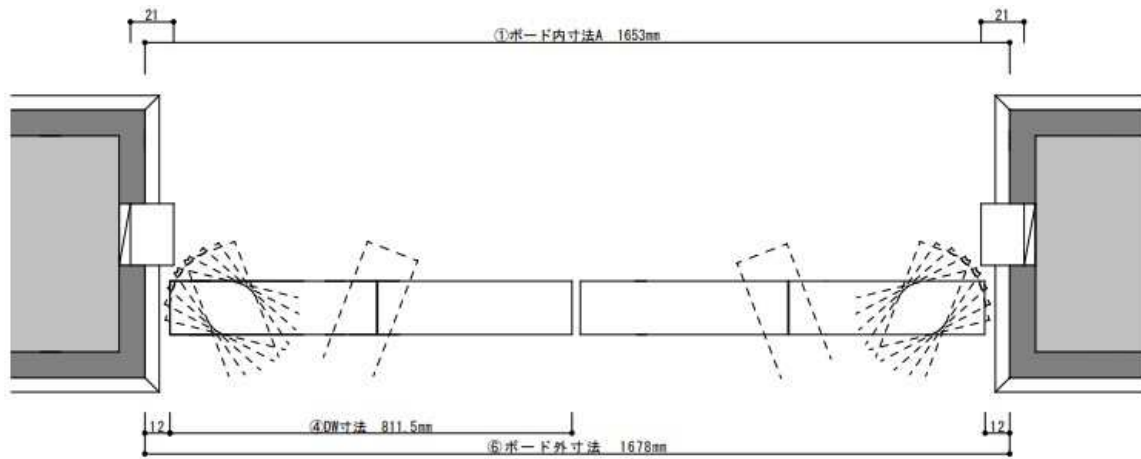
●0.5間



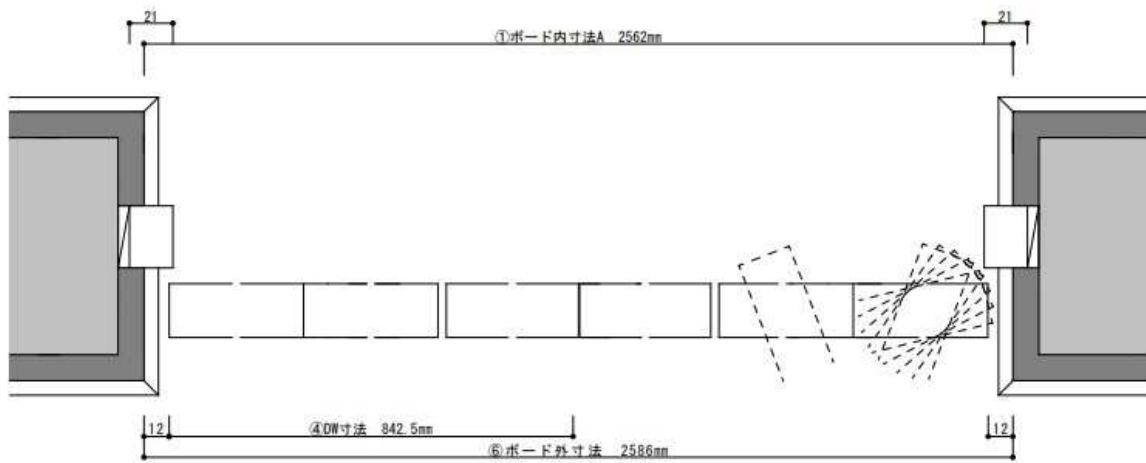
●0.75間



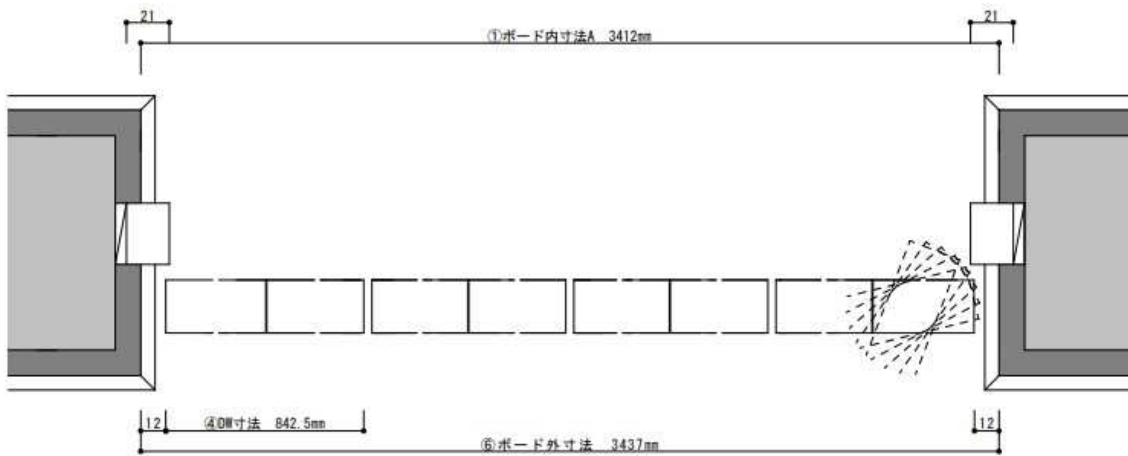
●1.0 間



●1.5 間




●2.0 間




■使用上のご注意

●人への危害や財産の損害を防止するために、必ず下記を守ってください。

 **警告** 「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。

警告



- ・折戸や取っ手にぶら下がらない
折戸本体が転倒してけがをするおそれがあります。

注意



- ・二人以上で作業する
一人作業では商品の転倒などによりけがをするおそれがあります。
- ・必ず付属の金具・ねじで施工する
商品を実際に固定できず、破損・落下・転倒によりけがをするおそれがあります。
- ・ねじで部品・部材を固定する場合は、電動ドライバーなどで締めすぎによるねじの空回り、ねじ頭のつぶれがないようにする
折戸本体などが転倒してけがをするおそれがあります
- ・枠、レール（特に天井面）を躯体へ確実に固定する
商品や部品・部材を実際に固定できず、破損・落下・転倒によりけがをするおそれがあります。

■施工上のご注意

- ・ひっかき傷・打痕などには十分気をつけてください。
- ・湿気の多い場所には施工しないで下さい。本体の反りや作動不良の原因となります。
- ・建築完了まで、ダンボールや養生材などで本体及び枠の養生をしてください。
※本体及び枠に直接粘着テープを貼らないでください。

■運搬、保管上のご注意

- ・製品の仮置きや保管は、湿気や直射日光のあたる場所を避け、床面が水平な場所に平置きしてください。
立てかけておくと、反りや変形の原因となります。
- ・運搬、荷降ろし時は、商品の角からの落下や打ち当てによる傷や変形に注意してください。
- ・直接日光の当たる場所に置かないでください。日焼けの原因になります。
- ・表面材がはがれる恐れがあるため、直接養生テープなどを貼らないでください。
突板の扉は部分的に養生を行うと養生していないところだけ日焼けする恐れがあるので部分養生をしないでください。

■お手入れ方法について

- ・特に細かなお手入れの必要はありませんが、汚れが気になる場合は、固く絞った雑巾で拭いていただき水分が残らない様に乾拭きしてください。汚れがひどい場合には、固く絞った雑巾に中性洗剤を少し染み込ませて拭いて、水分が残らない様に乾拭きしてください。
- ・突板の扉の表面はオイル仕上げです。メンテナンスでオイルを塗る場合は、サンドペーパーのかけすぎに注意してください。オイルは、アールジェイ株式会社のいろはを塗ってください。ブラックウォールナットなど変色した場合、いろはカラーで着色することも可能です。